

言語文化学科国際コミュニケーションコース

M.H. (2018年8月～12月/ 3年次 韓国・インジェ大学留学)

韓国インジェ大学での語学留学を終えて、旅行するだけでは触れることのできなかつた文化、生活に触れることができました。一見アジアだし隣の国だからほとんどは似ていることが多いだろうと思っていたのですが、生活していく中で日本と大きく違うことの方が多く感じました。その中で、これは日本の方が便利だと思うこともあれば、逆に不便だと思うことも多くありました。そして日本人である私にとって日本がどれだけ住みやすいかを実感しました。

また、日本語の中で学ぶ韓国語と韓国語の中で学ぶ韓国語では習得スピードが全然違いました。行つてすぐの授業からもう日本語は一切通じない環境で自分の語学力がまだまだで悔しかったのですが、様々な方法で努力することでだんだんと自分の語学力が上がっていることを日常で感じることができました。それもまた、もっと頑張ろうという意欲につながりました。半年間の短い間でしたが、語学力の向上のほか異文化理解を深めるとともに、精神面や忍耐力の面からも自分を成長させることができたと思うので、留学してよかったです。

言語文化学科国際コミュニケーションコース

K.N. (2018年8月～2019年7月/ 2年次 中国・吉林外国語大学留学)

授業は全て中国語で行うため最初は聞き取れないこともありましたが、毎日中国語に囲まれて生活していくうちにだんだんと耳が慣れて、聞き取れるようになりました。しかし一歩学校の外に出ると全く聞き取れなくなります。なぜなら学校で習うのは標準語ですが、長春の方は方言があります。また先生は外国人に分かりやすい単語を選んで授業をしてくれます。そこで私はもっと中国人学生の友達を作り会話することが大事だと気づきました。しかし、私たちの留学生寮と中国人の学生寮は同じ敷地内でも距離があるため出会うことが少なく、授業も留学生だけで行います。そのため、私は日本語学科の学生と交流するイベントに参加したり、大学院生が主催の中国語セミナーに参加するなどして、中国人学生との交流を深める努力をしました。

前期に中国語の朗読大会に出場しました。出場したのは5ヶ国計12人で、私は毛沢東の詩を暗記して朗読しました。自分の中国語に自信が無く、出場するか迷いましたが、後悔はしたくないと思い、思い切って出場することを決めました。

後期にはスピーチ大会に出場しました。私は、中国人が「ご飯食べましたか？」を挨拶代わりに使う文化について発表し、2位をいただきました。積極的に参加することで、自分の自信にもつながりました。

この留学を通して、たくさんの人に出会い、一生忘れられない思い出ができました。また、もっと中国語が話せるように、他の言語も話せるようになりたいと強く思いました。様々な文化、考え方、日本では経験できないことを中国で経験できてとても勉強になりました。先生方、家族、友達に感謝しています。

言語文化学科国際コミュニケーションコース

A.T. (2018年8月～2019年3月/ 3年次 アメリカ・カリフォルニア州立大学サンマルコス校留学)

7か月間、異文化の中で暮らすことで語学の勉強や多くの人々との出会い、新しい場所、新しい価値観に触れることができた。留学して間もない頃は、自身の英語力で上手く相手とコミュニケーションが取れず、会話の難しさを感じるが多かった。私は、5段階レベルの中で一番低いレベル1のクラスだったが、日本人学生が少なく、クラスメイトは韓国人、中国人、サウジアラビア人、フランス人と国際色豊かで少人数のクラスであったため日々の授業ではクラスメイトと共に勉強し、英語で必死に会話し学ぶことができた。また、ホストファミリーと共に生活していくことでアメリカの文化や価値観に深く触れることが出来たのではないかと感じている。そして留学を通し、自分自身で行動する力や何事にも挑戦していく姿勢を身につけることができた。自己主張が大切なアメリカで学んだことである。そして異文化で暮らすことにより、日本という国を違う視点から見ると改めて日本の文化の素晴らしさに気づく事ができた。留学に行って、語学の成長の他に、多くの大切な友人ができた事、そして第二の家族ともいえるホストファミリーとの出会いが今の自分に大きな自信を与えていると感じる。